



 今回初めて住民投票条例案が提出されましたが、これに対する各会派の考えや思いを聞きました

〈公明会〉

住民投票に既存の選挙システムを使用することができない。システムを構築するのに約8か月かかり、全体で約8000万円の費用が必要。参議院選挙と同時実施は難しい。

また、(仮称)郷土史博物館案が策定するまでの過程は①基本構想②基本計画③建築基本設計④実施設計がある。基本計画案を十分議論し、市民へ周知が必要と考えている。

〈明和〉

署名された方々の民意は重く受け止めている。しかし、今回提出された住民投票条例案は、内容に不備があることや、基本計画が策定されていない状況での住民投票の実施には、誤解や混乱の恐れがあるため賛成はできない。今後当局から提出される基本計画案には民意を尊重し、現実的な判断をしたい。

〈至誠〉

一部の市民の皆さんの声とはいえ、住民投票条例案が提出されたことについては会派として大変重く受け止めております。しかしながら郷土史博物館建設の賛否については時間的猶予のない埋蔵文化財センターの建て替えや、今博物館規模のものが必要なのか、資料館規模ならいいのかなど、議会としてまだまだ検討しなければならない課題だと考えています。